

村山ひでき

市政レポート

ひとをつなぐ まちをつくる

小金井市議会 「みらいのこがねい」 会派ニュース

コロナに負けるな！がんばろう小金井！ 2021年 新年号

- 新年所感～第4回定例会は3件の補正予算を含む全議案を賛成多数で可決
- 「新庁舎建設に関し市長案と市民案の比較検討を求める陳情書」への反対討論
- 12月議会でも可決された新型コロナウイルス感染症対策の補正予算ご報告
- 市内商工業者を守る！事業者支援金（第三弾）の実施を求める決議を全文掲載



2021年3月21日は小金井市議会議員選挙(告示日3月14日)

2021年度市議会 第1回定例会 市議選のため前倒し開会(1月22日から3月5日までの会期予定)



↑任期後半2年間は総務企画委員会の委員長(12月10日)

新しい年を迎えました。皆様はどのようなお正月を迎えられたでしょうか。

2020年は、新型コロナウイルスによるパンデミックが起きた年として歴史に刻まれ、我々の生活も大きく変わらざるを得なくなりました。

小金井市では、国が確保したワクチンが承認され次第、スムーズに接種を行うための準備の予算を12月議会でも可決しました。治験データが少なく不安を感じる方も多いと思いますが、自治体としては準備を進めなければなりませんし、一昨年までは当たり前だった日常を少しでも取り戻す一歩にしなければなりません。

いまだに感染拡大が続く状況です。くれぐれも慎重にお過ごしいただき、皆様にとって希望に満ちた一年となるようご祈念申し上げます。

11月30日～12月21日 第4回定例会：コロナ追加対策の補正予算3件など全議案を可決し閉会

市議会において、新庁舎と(仮称)新福祉会館建設に関し、市長案と市民案の比較検討を求める陳情書への反対討論(抜粋)

2018年9月18日に6会派12人の議員が、①清掃関連施設の敷地内暫定移設を行わない、②新福祉会館を先行竣工とする、③敷地東側の樹木を残す、④新庁舎の免震構造の地下の駐車場利用する、という4点を考慮した新たな施設配置の検討案を作成せよ！と求めた申し入れを市長が受入れた結果、現行の「いわゆる市長案」となったが、「いわゆる市民案」は清掃関連施設を敷地内で移設することが前提となっている。陳情者は議会の経過を知らないのだと受け止めている。

「いわゆる市民案」は、これまで正式な議会などの場で議論されたこともなく、市内に配布されている陳情者ならびに陳情団体のチラシをみると、一方的に「建設工事費は約16億円も安くなる」、「建設スケジュールは工事完了まで3ヵ月も短くなる」など、試算されたプロセス、具体的な根拠となるデータも示さずに主張した内容となっている。これらを本格的に比較検証するには、予算も時間も必要だが、その検証の結果、やはり「いわゆる市長案」に優位性があった場合、その検証に費やしたコストは住民監査請求等に耐えられるとは思えない。

そして、正式なプロポーザル当選案を無視して、後から出てきた案を同じものとして比較検証すること自体が非常識だ。そんなことをしたらプロポーザル参加者から損害賠償請求されてもおかしくないし反対する。

最終日12月21日に上程された一般会計補正予算(第10回)も含め、合計3件の補正予算を可決しました。多くが追加のコロナ対策となった補正予算の内容は裏面をご参照ください。

また、今議会では、一部の議員や市民団体が主張する新庁舎建設案(=いわゆる市民案)を現行案(=いわゆる市長案)と比較検討することを求める陳情が審査されていましたが、村山ひできは採決にあたり反対討論を行いました。

やっと実施設計まで進んだ新庁舎建設をストップさせるような検証作業は不要であると主張した内容は下記の通りですのでご高覧ください。

12月議会補正予算の新型コロナウイルス感染症対策（抜粋）

小金井市では新型コロナウイルス緊急対応方針第1弾から第4弾までを策定し、医師会等との関係機関と連携した感染症対策、市民生活や事業者等の皆様を支える支援策に取り組んでいます。既に第3弾までの予算規模は特別給付金を除くと約21億円となっており、さらに12月議会では11月20日に公表された第4弾方針に基づき多くの追加支援策を3件の補正予算で予算化しましたので一部をご報告します。また、市議会では**事業者支援金(第3弾)の実施を求める決議(下記の囲み記事参照)**も可決しましたのでご高覧ください。

事業名	事業の内容
① 高齢者 ICT 活用支援	地域活動継続のため オンラインで交流する技術の習得 を目指す高齢者(講座受講者)の受講料等を補助する。
② 小中学校における感染防止	非接触式体温計、手袋、フェイスシールド、空気清浄機等を購入する。
③ 在宅要介護障がい者・高齢者 緊急入院等事業	在宅で高齢者又は障がい者を介護する家族等がコロナに罹患した場合、要介護者の緊急入院の個室病床の通年確保、必要な検査と医療機関への移送に要した経費の補助をする。
④ 新型コロナワクチン接種事業	国が製薬メーカーから確保したワクチンの接種ができるよう接種履歴の管理システム修正、パソコン機器、接種券等の印刷や発送を準備する。 現時点では2021年3月の接種開始を想定。
⑤ ひとり親世帯への 臨時特別給付金の再支給	基本給付の支給対象者に対して再度、同様の基本給付(再支給分)の支給を実施。

新型コロナウイルス「第三波」から市内商工業者を守るべく、事業者支援金(第三弾)の実施を求める決議

新型コロナウイルス感染症は、今秋から再び感染拡大に転じ、いわゆる「第三波」が全国的に猛威を振るっている。その影響で、GoToトラベル事業はついに全国一斉中止となった。感染拡大は収束の兆しすらなく、長期化する第三波の拡大が本市の商工業に与える影響は計り知れない。

この間、小金井市は、テナント営業している事業者に対する事業継続支援給付金を実施した。さらに、市議会の決議を踏まえて、**自己所有物件で営業する事業者にまで対象を拡大**し、事業者応援金を給付した。

事業継続支援給付金とともに事業者応援金も一定の効果を発揮しているところであるが、今般の第三波に対しても、市内商工業者への新たな支援が必要である。

事業継続支援給付金及び事業者応援金は、市議会が議決した予算額に到達せず不用額が生じている。その不用額の活用も含め、あらゆる工夫で最大限財源を確保して、事業者支援金(第三弾)を実施すべきである。

よって、小金井市議会は、市長に対し、来る令和3年第1回定例会に関連予算を提出すべく最大限努力することを求めるものである。

以上、決議する。

令和2年12月21日 小金井市議会



↑市内飲食店の支援企画！応援弁当を購入

村山ひできプロフィール

- 1971年 新潟県南魚沼郡湯沢町生まれ
- 1990年 新潟県立長岡高等学校 卒業
- 1995年 明治大学政治経済学部 卒業
～衆議院議員(岩国哲人・城島正光)秘書
- 2005年 小金井市議会議員選挙に初当選
- 2013年 落選
～(株)ジェコム東京に入社社員として勤務
- 2016年 復帰を決意し(株)ジェコムを退職
- 2017年 再び小金井市議会へ
民進党の解党とともに無所属に
現在、総務企画委員会の委員長を務める

《主な地域活動》

- 小金井阿波おどり振興協議会 専務理事
- 小金井薪能 理事・警備委員長
- 小金井市献血推進協議会 事務局長
- 小金井市トライアスロン連合 事務局長
- 子ども達を薬害から守る実行委員会 事務局 名勝 小金井桜の会 会員
- 明治大学校友会小金井地域支部 幹事
- 小金井青年会議所シニアクラブ 会員
- はけの自然を大切にすの会 会員
- 東京小金井ロータリークラブ 会員
- 小金井明るい社会づくりの会 常任理事

村山ひでき事務所

〒184-0004
小金井市本町 6-13-17
サンライズ武蔵小金井 702
TEL 042-386-5543
FAX 042-386-5560
携帯 090-3428-2715

✉メール

hideki@murayama.tv

WEB サイト

<http://www.murayama.tv>

Twitter

@Murayama-Hideki

Facebook

<https://www.facebook.com/hideki.murayama.52>